

**篠山市篠山伝統的建造物群保存地区防災計画  
報告書**

平成 20 年 3 月  
篠山市教育委員会

1. 本報告書は、篠山市教育委員会が平成 19 年度に策定した「篠山市篠山伝統的建造物群保存地区防災計画」の報告書である。
2. 防災計画策定にあたっては、篠山市教育委員会地域文化課を事務局として、文化庁及び兵庫県教育委員会、篠山市伝建地区防災アドバイザーの指導を受け、伝建地区の住民組織である篠山まちなみ保存会と連携しながら実施した。
3. 防災計画策定にあたっては、(株)地域計画建築研究所大阪事務所に調査業務を委託した。
4. 本書の執筆は、6.2.1「ワークショップの概要」及び 6.2.2-1「事前アンケートの結果」については、京都大学人間環境設計論分野にまとめていただき、それ以外については事務局と受託会社が執筆した。なお、2.3「自然条件の特性」は『篠山市地域防災計画－風水害等対策編・地震災害対策編－』（篠山市防災会議 平成 18 年度修正）を参考に作成した。
5. 本書の編集は、受託会社の手助けを受けて、事務局が行った。
6. 防災計画策定にあたって、下記の各関係機関より資料提供を受けた。記して謝意を表する。  
文化庁文化財部参事官付(建造物担当)伝統的建造物群部門、兵庫県教育委員会、立命館大学歴史都市防災研究センター、京都大学大学院地球環境学学、下郷町教育委員会、川越市教育委員会、香取市、佐渡市教育委員会、金沢市、高山市教育委員会、恵那市教育委員会、東近江市教育委員会、京都市、南丹市教育委員会、橿原市、湯浅町教育委員会、倉吉市教育委員会、呉市教育委員会、萩市、内子町、朝倉市教育委員会、八女市、うきは市教育委員会、薩摩川内市教育委員会
7. 現地調査並びにアンケート調査、ワークショップにご理解、ご協力をいただいた地区住民、篠山まちなみ保存会役員の皆様に厚く感謝申し上げます。